

成果の説明書

(氏名) 梅田宙	(学部)経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>【研究】</p> <p>①刊行物</p> <p>(1)論文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梅田宙・西原利昭・梅田充・伊藤和憲（2020）「日本企業の統合報告の現状」『産業経理』Vol.80, No.1, pp.179-189。 ・宮川宏・梅田宙（2021）「企業間連携構築にかかわる探索コストのフレームワーク」『会計学研究』Vol.47, pp.47-70。 <p>(2)書籍</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梅田宙・平野耕一郎（2020）「第11章 水道事業の管理者に求められる経営管理能力」大西淳也編著『行政管理会計の基礎と実践』 <p>(3)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大西淳也・梅田宙(2020)「予算管理論についての論点の整理」『PRI Discussion Paper』 <p>②未刊行の原稿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Hiroshi Umeda, 2021, "The purpose of using cost information within a healthcare organization", <i>Japanese Management and International Studies</i> (校正段階) ・梅田宙（2021）「インタンジブルズ間の関係性の考察－BSC の学習と成長の視点に焦点を当てて－」『商学研究』（査読結果修正段階） <p>【教育】</p> <p>オンラインに対応した講義方法を模索した。講義では動画を作成して、時間や場所を問わず受講できるようにした。毎週選択式の課題を提示し、問題を解く過程で受講生の理解度が高まることをめざした。また、レポート課題を課し添削を行い、全受講生にフィードバックした。</p> <p>ゼミは、テキストの輪読、経済紙や新聞を活用した企業のケース分析、卒業論文の指導などを行った。課外活動では、日経ストックリーグに参加した。またオンライン形式でインゼミを2度実施した。</p>	
<p>2 その他の事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『日商簿記検定2級模擬試験問題集2020年度版』実教出版 工業簿記作問・校閲 	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>【研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタンジブルズと組織設計の関係の調査を進めていく。 ・共同研究として、メルコ学術振興財団から得た研究助成、「企業間ネットワーク構築における管理会計情報の貢献：インタンジブルズの利用を中心に」を進めていく。 ・病院のマネジメント・システムの研究を進めていく。 <p>【教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義：過年度資料をベースとしつつ、内容を更新する。次年度は対面受講と遠隔受講の両方で受講が可能な形式とするため黒板を使うことができない。これまで板書していた内容をパワーポイントにまとめるなどで対応する。 ・ゼミ：輪読を継続するとともに今年度も他大学とのインゼミでの報告を目指す。 	